

# 大妻同窓会愛知だより



謹んで初春のお慶び

申し上げます。

会員の皆様にとって希望に満ちた  
明るい一年となる事を心より祈念  
申し上げます。

地方同窓会愛知も昨年予定してお  
りました年二回の行事も好評のう  
ちに終える事が出来ました。  
会員皆様の暖かいご支援に厚く御  
礼申し上げます。

昨年は長期化する円高、中国等を  
めぐる対外環境の変調、大震災か  
らの復興など国内外の課題が山積  
みする中、母校大妻コタカ記念会  
では、自らの道をどんどん切り開

## ごあいさつ

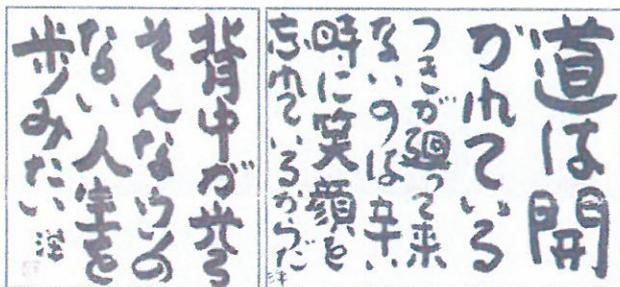
大妻同窓会愛知

代表

坂田信子

き常に前を向いて進まれたコタカ  
先生の姿勢をお手本に、母校は不  
確実な世にあっても確実に歩み続  
けている姿に私共同窓生として安  
定した記念会の姿に勇気づけら  
れ、地方同窓会活動の大きな原動  
力になっていると信じています。  
今後同窓会愛知も益々会員の皆々  
様の強い絆でさらにと光る元気な  
活動の出来る会になる事を願っ  
ています。

本年も楽しい年二回の行事を企画  
して参ります。  
会員の皆様のご参加を  
心よりお待ちしております。



発行所

責任者 坂田信子

発行人 大妻同窓会愛知

## 平成二十五年度の行事

大妻同窓会愛知総会

〔日時〕五月十八日(土)

十一時三十分

〔会場〕名鉄グランドホテル

12階 蘭の間

秋の例会

〔日時〕十二月八日(日)

十四時～十六時

〔場所〕名古屋能楽堂

『幽玄の世界にようこそ』

親世流能楽師坂井音隆

本物の能の魅力に迫りましょう  
実際に所作や謡などもやってみ  
るコーナーもあります。



総会 平成24年5月26日(土)名鉄グランドホテルにて

### 寄宿舎の思い出

昭和三十五年短大卒業  
八尾多美子

生まれ育った家族と故郷を離れ、不安と希望を抱いて一九五八年三月上京し、大妻女子大学加賀寮で二年お世話になりました。後に知ったことですが柳田国男氏の宅地と建物を購入して大修理と増改築を重ねたのが現在の加賀寮の始まりだったそうです。その加賀寮が二〇一三年三月閉寮する事になりました。記念会から「記録遺産として残したいのでどんな事でも良いから教えて頂けませんか」と依頼がありました。

卒業して最早五十余年も過ぎ記憶は疎(まぼら)ですが偶々(たまたま)書きを整理していた時と重なり、アルバムと心に残っている情景などの思い出を手繰り寄せてみました。

寮の門は板張りで縦長の二枚の板に「大妻女子大学寄宿舎」と「市ヶ谷加賀寮」と書かれた大きくて立派な表札が掲げられていました。玄関左側に舎監室があり上品で和服姿の熊田先生と品川先生、河村先生が正に地方から来た寮生の親代わりとして見守ってくださいました。玄関入って左右に木造二階建てで畳部屋が二棟と木造モルタル塗り一棟があ

り部屋は両側に二段ベッドが据え置かれて新館と言っていました。畳部屋は六畳から八畳で上級生と下級生が四、五人で組まれて前期と後期でメンバーが変わります。上級生や下級生には「〇〇さん〇〇ちゃん」と呼んでいました。部屋は廊下を挟んで並列し出入口はガラスの引き戸で、各自の座机は窓側に向って並べて布団を敷くと空間が殆んどない状態です。電灯は簡易なかががある裸電球で勿論蛍光灯ではありません。食事は薄暗い地下食堂で部屋ごとに取りました。昼用に食パン一枚と銀紙に包まれたマーガリン一個を頂いて食べましたがひもじい思いは度々です。洗面所、洗濯場、トイレなどは共同で使い、風呂は銭湯で家の風呂だった私は恥ずかしくて躊躇していません。携帯のない時代ですから舎監室の電話にかかり呼び出してもらい小走りで行き小声で話したり両親の声で涙ぐんだ時もありました。門限八時に遅れた時は舎監室でお説教もあつたようです。点呼もあり消灯が十時で以降は地下の学習室です。共用の足踏みミシンを使う時は順番待ちが大変でした。提出分の期限はあるし、ミシンの調子は悪かったり冷えこみもあり夜遅くなつて苦労しました。楽しかった事では部屋からコーヒーツきで四、五十円の歌声喫茶へ行って大声で合唱した事。

夏休みや冬休みに帰省し寮に戻った時は故郷の土産物が豊富なので皆で分け合つて食べ、方言を言い合つて喋つたりで賑やかな女子会でした。一九五九年十一月二十二日、この年が初めての寮祭が開かれました。簡単な舞台に紅白の幕を張り、寮生は詩吟、詩舞、民謡、民舞などでお国自慢をしました。私が今も強く印象に残っているのはお母さま(コタカ先生)が来て下さり舞台で「皆さんに逆立ちして見せますね」と仰り、着物なのにどうして出来るのかなあ?と思つた後方にいた私は背伸びして目を凝らしていたら両手を、真直ぐに上げて手の平を天井に向けて実に見事にヨチヨチと歩かれました。そして「こんな隠し芸なら誰にでも出来ますよ!」と披露され感服し拍手喝采でした。夜は提灯を吊した庭でフォークダンスを楽しみました。お母さまが来て下さり嬉しく楽しい一日でした。

五十余年経ても僚友とは年賀状で近況報告と寮生活の思い出で懐かしんだりしています。加賀寮は閉寮しても大勢が巣立った寮生は共に笑つて泣いて語り合った青春時代に貴重な共同生活で得た各々の体験が自分史でもあり寮の歴史として永く残ることと思います。

### 短歌八作品

昭和三十三年 短家卒

竹田 敦子

ランの館

秋日和ランの館に女ひとら集う

甘き香りに優しく包まれる

華やかに展示されるランの花

姿やさしき眼(まなこ)を集めたり

大鈴のランの花色美しき

行灯の明かり 風情(ふうせい)かもす

散策のアジアの庭にバナナの樹

赤き小花をはのどしのばせり

噴水の上がる池巡る野の草花

彩り鮮やか秋陽の中に

いろいろのランの小鈴も愛らしき

贖(あがな)う(あがな)う入ら顔ほころばす

顔形に巧く彫られしカボチャあり

ユーモアあふれしばし笑みこぼす

我が会に初参加の女ひとにこやかに

一人暮らしの様子語られり

平成二十四年五月二十六日(土)  
**「大妻同窓会愛知」設立八十周年記念  
 講演 及び 総会について**

財団法人から一般財団法人へと別の組織体となり名称も新たに活動が各地方に向けられました。その第一歩の年が『旧愛知支部』八十周年を祝う記念の年！又、三年毎に東京から『記念会』の理事をお迎えする年回りでもあり井上会長、山下理事、講師の堀口美恵子准教授に来ていただきました。五十人を超える方々に出席していただき、無事盛大な行事となりました。

午前に『食と健康及びQ&A』と題して短い時間でしけれど、久々に学生の気持ちになって講義を学ぶ事が出来ました。

井上会長にもご出席いただき、午後からは総会・会食と進み記念すべき行事を終わる事が出来ました。この日を迎えることが出来たのも『同窓会愛知』会員の皆様・代表役員の方々の賜物と思っております。ありがとうございます。後日『記念会』からも喜んでいただいたとの報告を受けました。



同年十月十九日(金)秋の例会(散策)「ランの館」のスナップをご覧いただきたく載せました。

どうぞこれからの「大妻同窓会愛知」発展の為に「参加・ご意見をいただきませうようお願い申し上げます、お待ちしております」

前年度平成二十四年五月  
**総会ご出席の方々の  
 ひょうご**

★ボランティア活動をして思う事は普通の生活ができる事がどんなに幸せなことかということ。  
 ★姉妹が大学を希望した時「大妻なら入学しても良い」と両親が上京を許してくれて、学生生活を過

ごせた事がうれしかった。「大妻に入学するのなら又、結婚式を祝う年を迎えられた事に感謝です。」  
 ★名古屋に来て53年！思い出多い学生生活でした。今は主人の食生活に気を配る事に苦労しています。  
 ★大妻会に出席出来る幸せを感じ、うれしく出かけて来ました。  
 ★平凡な日常に幸せを感じて生活しています。  
 ★十七年間この会に参加させていただき元氣をももらっています。  
 ★縁あつてこの会に参加して十年になりました。役員の方々のご苦勞にお礼申し上げます。又、会の発展を思っております。  
 ★いつも子供の話で終わってしまうのでいくらか自分の時間が持てる様になったことを機に何かはじめようと思っております。いくらかは、長続きできるように頑張ってみます。

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

平成24年度 大妻同窓会愛知

収入の部	地	祝前総私利	地	金
	地			
支出の部	経	経	代	他
	経			

### 布草履

昭和四十五年短食卒  
沖 春代

布草履を作り始めてから五年が経ちました。きっかけはテレビ番組でした。「私にもできそう」と思い、すぐに取り組みました。手仕事も洋裁から編み物、布草履と年代に合わせて変わっていきました。

私は小さい頃、機織りに興味がありました。近所のおばあさんの家で作業をずつと眺めていた記憶があります。今でも染色や機織りはやってみたくて思いますが、大掛かりなので草履編みで止まっています。現在は、住まいのある岡崎で二十余名の仲間たちと一緒に和気あいあいとしやべりをしながら、布草履作りに取り組んでいます。出来栄を良くする工夫や配色を考え、老化防止に今後も続けていきたいと思えます。



## 人生を開く扉

どんなに大変でも  
どんなに幸せでも  
「毎日」はいつでも新しい一日  
毎朝がスタートで  
毎日に  
新しい  
チャンスが  
あります



### 平成25年度 大妻同窓会愛知 役員名(案)

顧問	坂田 信子
代表	清水美知子
副代表	矢部 圭子
〃	竹田 敦子
会計	沖 春代
書記	横山 千春
幹事	朝岡すみ子
〃	阿部 京子
〃	加藤 幸子
〃	加納 曜子
〃	鈴木 君栄
〃	

同窓会にご出席いただけない会員の皆様との交流の場にしていきたく思っております。どうぞ、近況のみならず、皆様へのメッセージ、お知らせ、母校の思い出、会へのご助言など、ひとことでも結構ですので、同封の葉書のメッセージ欄へお書きいただければ嬉しく思います。  
係 より